

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|---------|--|------------------|
| 3 | 望月 徹（3） | <p>1. 富士市電子プレミアム付商品券 全ての人に喜んでもらえる施策を</p> <p>本市は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経済循環が停滞している中、市内における消費喚起や市内店舗の売上げ向上、さらに市民及び事業者のキャッシュレス社会への対応を進めるため、全市民を対象として、富士市電子プレミアム付商品券「ふじペイ」の販売を10月1日から開始し、11月16日現在、85%の販売実績となっています。</p> <p>多くの市民が恩恵を受けている一方で、不満を抱えている市民もいます。主な理由として、①小さな地区の住民を対象とした小規模な食品店等は、従来からスマートフォンやタブレット端末を利用していない。端末等を借りることができることは聞いたが、面倒に思い、加盟店に応募しなかった。②地域に商品券を使用できる店舗が少なく、購入しても消費できるか分からない。③近隣自治体に比べ、メリット感が小さいということが指摘されています。</p> <p>国からの補助金に伴う消費促進事業として、各自治体が知恵を出し、趣向を凝らして実施しています。本市の施策は、全ての人に喜んでもらえる施策となったのか。今後、このような事業を実施する際の取り組み方について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 今回のふじペイの発行による市民の皆様の反応を当局はどのように捉えているのでしょうか。</p> <p>(2) ふじペイの加盟店に登録しなかった店舗が多数ありますが、その理由についてどのように把握されていますか。</p> <p>(3) 次にこのようなプレミアム付商品券事業を実施する際、発行方法から決済方法までどのような取り組み方をされる予定でしょうか。</p> <p>(4) 今後、地域通貨の導入についてどのような検討をされていくのでしょうか。</p> <p>2. アライグマ、ハクビシン、アナグマ、イノシシ、鹿等、野生動物駆除対策の促進を</p> <p>本市においては、鳥獣被害防止対策協議会を設置し、野生動物による農作物等の被害の軽減を図るため、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業交付金を定め、捕獲実績が確認されたものに対し交付しています。この金額は国からの支援事業補助金と同額です。また市独自の対策として、農作物被害対策事業補助金を交付しています。</p> <p>害獣による農作物等の被害は表に現れない部分が多く、実態を把握することが難しいとされていますが、年々増加していることに間違いありません。</p> <p>鹿を除くこれら野生動物の年間出産数は約5頭です。捕獲しない限り、ねずみ算式に増えていきます。</p> <p>捕獲促進の方法として、猟友会の協力が欠かせません。しかし、猟友会メンバーは高齢化が進んでいます。</p> | 市長 及び 担当部長 |

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|---------|--|------------------|
| 3 | 望月 徹（3） | <p>捕獲促進と被害防止の観点から、以下質問いたします。</p> <p>(1) 近隣市は捕獲報奨金を、国庫補助金に市独自の報奨金を上乗せしています。捕獲のメリットを高めることで、促進につながると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(2) アライグマについては、地方自治体が防除実施計画を策定し、環境省及び農林水産省の確認を受けることで、今より簡単に捕獲から殺処分まで実施することができます。この防除実施計画を策定していくことで、駆除促進につながると考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>(3) 駆除及び被害防止の対策として、狩猟免許者の増加、防除対策を担当地域に周知する等が考えられますが、具体的にどのような対策をされているのでしょうか。</p> | 市長 及び 担当部長 |